

令和4年9月6日

校長室だより

座間市立相武台東小学校
校長 浜田 佐織

第 4 号



3年ぶりの水泳教室

9月に入り残暑の中にも秋の風が感じられます。39日間の夏休みが終わり、2学期が始まり1週間たちました。新学期、久しぶりに会ったこどもたちは皆、元気そうで安心しました。大きな事故やケガ等もなくスタートできたことが大変うれしいことです。行動制限のなかった久しぶりの夏休み、子どもたちは親戚に会ったり、旅行に出かけたりと、外での活動を楽しむことができたようです。1・2年生の絵日記や子どもたちとの会話からも楽しかった出来事が伝わってきました。

2学期は子どもたちが楽しみにしている、遠足やキャンプ、修学旅行といった行事が控えています。また、児童会でも交流フェスティバル等、子どもたちの主体的な活動も計画されています。日々の生活や学習とともに、こういった行事を通して子どもたちが大きく成長する2学期です。今学期も感染症対策を徹底したうえで、充実した学びや生活が送れるよう進めて参ります。



さっそく3年ぶりの水泳教室が行われています。トップバッターは6年生、昨日は4年生が実施しました。感染症対策として、教室で着替えをする、同方向を向き間隔をとり泳ぐ、マスクを外し会話を控える、密を避け自由遊泳は行わない等の対策をとったうえでの実施です。中には3年ぶりの水泳という児童もいる中で安全を第一に実施しました。子どもたちはルールを守りながら、大変生き生きと参加していました。会話はなくても表情でうれしさが伝わります。教員も久しぶりの水泳指導に神経を使い準備、当日の指導にあたりましたが、実施後は、無事実施でき満足そうな表情でした。まだこれから実施する学年もありますが、ぜひどの学年も実施できるよう願っています。ご家庭にも準備や健康観察にご協力いただき感謝申し上げます。



あいさつの意味

2学期が始まりうれしいことの一つに、子どもたちとのあいさつやそこから生まれるやりとりの楽しさがあります。私は毎朝、昇降口付近で登校する子どもたちを迎え、あいさつをしています。2学期の始まりも子どもたちがどんな様子で登校するのかとても楽しみにしていました。初日は久しぶりで少し緊張気味でしたが、それでもしっかり「おはようございます」の聲がかえって来ました。中には、私の背後にまわって驚かせようとする子や、遠くから手を振ってあいさつにくる子もいます。始業式では「今日のあいさつは、特別な意味があります。それは『ひさしぶり』『元気だった？』『2学期もよろしくね』という意味です。先生や友だちと『おはよう』のあいさつをたくさん交わして2学期をはじめましょう。」と話しました。

あいさつは、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」といった本当に短い簡単な言葉ですが、人と人とのコミュニケーションの入口にある大切なものです。登校時に見守ってくださる交通指導員さんや、地域のボランティアの方も毎朝、子どもたちに優しい声で「おはようございます」と励ましのあいさつをしてくださいます。(身内自慢になりますが、本校教頭もです。)再会のうれしさ、励まし、心配、時にはごめんねの気持ち、さまざまな意味が込められる、あいさつを2学期も互いに交わしながら、より良い人間関係づくりや居心地の良い相武台東小学校づくりを進めていきます。



おやじの会『水鉄砲大会！・南門草取り』

さまざまな活動で相東っ子を応援してくださる「おやじの会」の皆さんが、コロナ禍の子どもたちを楽しませたいと、夏休み7月30日(土)に「水鉄砲大会！」を開催しました。校庭を会場に低・中・高学年と3分散で開催し、大いに盛り上がりました。教員たちも参加し、子どもも大人も一緒に楽しみました。子どもたちからは「来年もおねがいます！」とリクエストの声もあがっていました。

また、夏休みの最後の8月27日(土)は毎年恒例の南門付近の草刈りを行いました。夏の草が茂り木の枝も垂れ下がり、うっそうとしていた通学路が、すっきりときれいになりました。2学期スタートから毎日子どもたちが安心して登校できています。本当にありがとうございました。

